

行政区の沿革



旧遠野市

昭和29年12月1町7カ村合併

人口: 36,486人
世帯数: 6,367戸
※市役所を旧遠野町役場に、
旧役場に支所を置く。

昭和31年4月行政連絡員
を廃し、区長制を実施

169行政連絡員を
59行政区に

遠野町 11	綾織町 7
小友町 5	上郷町 10
附馬牛町7	松崎町 4
青笹町 5	土淵町 10

昭和51年4月70行政区
となる

遠野町 15	綾織町 7
小友町 5	上郷町 10
附馬牛町7	松崎町 8
青笹町 8	土淵町 10

平成17年10月
新遠野市誕生

遠野町 15	綾織町 7
小友町 5	上郷町 10
附馬牛町7	松崎町 8
青笹町 8	土淵町 10

宮守 7	達曽部 7
鱒沢 6	

90行政区となる

旧宮守村

昭和30年2月3カ村合併

人口: 10,022人
世帯数: 1,566戸
※役場を旧宮守村役場に、
旧役場に支所を置く。

昭和30年4月行政連絡員
33名を設置

昭和31年4月行政連絡員を
廃し、区長制を実施
20行政区に

宮守 7	達曽部 7
鱒沢 6	

旧遠野市の行政区数の推移

変更年月	遠野町	綾織町	小友町	附馬牛町	松崎町	土淵町	青笹町	上郷町	計	備 考
昭和31年4月	11	7	5	7	4	10	5	10	59	
昭和33年4月	11	7	5	7	4	10	8	10	62	青笹町が現在の形になる。
昭和34年4月	11	7	5	7	5	10	8	10	63	市営住宅60戸が建ち、八幡地区が独立して、5区を設置した。
昭和39年4月	12	7	5	7	5	10	8	10	64	住所表示に街区方式を採用したことによる。（早瀬町の分割）
昭和40年4月	14	7	5	7	5	10	8	10	66	” （鶯崎の独立、下組町の独立）
昭和44年4月	15	7	5	7	5	10	8	10	67	東館町から現在の15区独立
昭和51年4月	15	7	5	7	8	10	8	10	70	松崎町白岩地区の人口増により分割
平成25年4月	15	7	5	7	8	10	8	10	70	昭和51年から37年間行政区の変更は無し